



コロナ禍でも一步一步

8月8日熊本地震から4年ぶりにJR豊肥本線が全線開通。一足先にレールウォークイベントが開催されました。当日は、600人の参加者が、普段は歩くことができないレールの上を一步一步踏み始めながら歩きました。

Pick up

新型コロナ緊急対策と町の声
どうなった？一般質問の行方



本会議動画配信
はじめました



町の声

聴く → 応える

大津町議会では、議会や議会だよりへのご意見、ご提言、疑問などをお聞きするため、年2回、5月と11月発行号に巻末ハガキを付けています。前号では、5月以降に頂いた4件のうちの一部をご紹介します。



道路を覆う立木への対応

過去の経済建設しポート「町道を立木が覆う」についてです。何度お願いしても所有者が伐採しない場合、町が伐採して代金を請求するべきではないでしょうか？

お願いしても十分に対応されないことがあります。

一方で、現在の法令では、まず町が勝手に伐採することもできません。

国道や町道の違いで扱いが異なりますが、解消に向けた議論・対応に、議会も引き続き取り組みます。



道路の白線の薄れへの対応

町の玄関でもある肥後大津駅前の道路白線などが消え、横断歩道すら分からない場所があります。安全上の観点から対応が必要だと思います。



ご意見の場所についての現地確認を行いました。

町内の白線や街灯には複数のご意見を頂いております。

今後も安全かつ快適な道路環境が維持されるように、議会としても引き続き町との情報共有に努めます。

傍聴から はじめよう!!

当日行けば、どなたでも傍聴できます!!

次回定例会(予定)
9月7日(月)10時~
オークスプラザ2階
ふれあいホール(仮設議場)



FONT
思やすぐ読みまらへんにくい
ユニバーサルデザインシステム
を採用しています。

この議会だよりは、
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。

おおづま議会だより 92号

編集：(委員長) 豊瀬 和久 / (副委員長) 金田 英樹
(委員) 山本 富二夫 / 山部 良二 / 三宮 美香
発行責任者：(議長) 桐原 則雄



編集後記

「令和2年7月豪雨」では、熊本県内で河川氾濫・土砂流出等が発生し多くの方々が被災し亡くなりました。集中豪雨で亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今後、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営、災害や感染症の対策を踏まえた議会運営など情報発信がますます重要となってきます。町民の皆様への安心安全な暮らしを確保するため地域防災力を高め、あらゆる災害に強いまちづくりが必要不可欠です。これからも広報編集特別委員会の一員として力強く情報発信していきたいと思ひます。(山部)

令和2年8月15日 第92号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 創文印刷
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎ (096) 293-8989

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚 龍一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本 富二	山部 良二	三宮 美香	賛成 ○	反対 ●
公有財産の処分について	-	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	10	5

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会

検索

詳細は
こちら

大津町議会HP会議録



議員の視点 一般会計補正予算に関する質疑

発言の一部を抜粋して掲載しています

荒木 俊彦議員



熊本地震で一部損壊の被害に遭われた3908世帯のうち町と県から見舞金や支援金を受けられた世帯は35.5%しかない。今回残りの2518世帯に郵便で案内を出す目的は何か。

答 一部損壊世帯で支援金の申請をされていない世帯へホームページで周知をしてきたが、今回、個別に郵送で周知をする。

金田 英樹議員



コロナを踏まえて1～2年前倒して小中学校のタブレットパソコン導入を進めるとのことだが、教材が前倒して整備できてもソフト面が間に合わなければ効果的な運用は難しい。教材ソフト選定や教職員の研修などは大丈夫か。

答 教職員向けの研修は昨年度から段階的かつ計画的に進めている。今後もコロナの状況を見定めながらできるだけ早く適切な研修を実施していきたい。

佐藤 真二議員



コロナ禍で雇止め等になった方への救済としての緊急雇用2名の採用状況、および、大津町在住などの採用要件はあるかを問う。

答 ハローワークを通じて募集しているが、まだご応募いただいていない。困られている方を町民に限らず、雇用したい。

山部 良二議員



新型コロナの影響により暮らしに関する相談件数が増えているが、くらしの相談窓口の体制は1名の増員で対応できるのか。

答 今後も相談件数が増加するとともに継続した支援が必要になると見込まれる。現状では不足することも予想されるので、まずは1名を増員する。

コロナ禍克服へ 地方創生臨時交付金の使い道が決まりました。



6月定例会を、新型コロナウイルス感染症への対応を行なった上で、6月10日から17日までの8日間の会期で開きました。
町長提案の一般会計補正予算案や、条例の改正など17議案を審議し可決しました。
最終日には追加議案として16議案を審議し、農業委員会委員等の任命に同意しました。
一般質問には、9人が登壇しました。
また、新型コロナウイルス感染症への対応として傍聴席数を減らしたため、試行的に本会議の動画をインターネットで配信する取り組みを行いました。



議長 桐原 則雄

大津町がもっと暮らしやすい町へ!

令和2年度補正予算案をチェック

事業継続、雇用維持、新しい生活様式、感染防止など

補正総額
45億2538万9千円
(うち特別定額給付金約35億)

●緊急雇用創出 280万円

新型コロナウイルス感染症相談業務対応のため、緊急雇用として6月から来年3月末まで2名を雇用する。

●くらしの相談窓口 420万円

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事になくなった方や収入が減少した方が、今後の生活を立て直すために相談支援を行う。

●公民館鍵リモート 390万円

公民館等の鍵をリモート化し、集中管理により施設の利便性の向上を図り、接触機会を減らす。

●学校給食による肉用牛の消費拡大事業 1000万円

●図書館感染防止対策 130万円

図書館蔵書の感染症予防対策のため、図書消毒機を導入する。

●電子書籍システムの導入 160万円

読書環境の充実を図るために電子書籍システムを導入する。

●児童手当現況届郵送受付 30万円

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため郵送により受付を行う。

休校に伴う小中学校の補習期間に夏バテ防止策として学校給食に県内産肉用牛を活用する。

町の予算
ピックアップ

新型コロナ

感染症防止対策に必要な物品の備蓄

2790万円

- ・高齢者施設
- ・障害者施設
- ・避難所等のマスク
- ・消毒液・パーテーション等の備蓄

はたなか ひろふみ
畑中 祐房さん

介護施設や避難所に感染予防の備品が備えられることは安心できる取り組みです。
しかし、大雨の時などに運ぶのは大変ですので、施設ごとの備蓄倉庫に置いておくと思います。

タブレットパソコン購入費

2億6200万円

小中学生一人一台の
タブレットパソコンを
配備するいわた こうじろう
岩田 幸志朗さん
(中学3年生)

人前で話すのが苦手な人もタブレットを通して、自分の意見を発表できるという話も聞くので、新たな可能性が沢山生まれると思います。

やまもと ちか
山本 千祥さん
(小学5年生)

私はタブレット教育に賛成です。
今、タブレット教材を使ってとても楽しく勉強できているからです。答え合わせがすぐできて、間違いも正解になるまでがんばれます！

まつなが きよひさ
松永 幸久さん
大津町商工会会長

新型コロナウイルス感染症対策緊急経済支援金

2000万円

30%以上50%未満減収した
中小企業や農業等に10万円の支援をする起業1年未満の
市原さん

長引くコロナ禍で、町からの緊急経済協力金は、特に影響の大きい飲食業・宿泊業にとって有益なものです。
今後、収束の見えない状況では、事業者にとって「新しい生活様式」に対応した事業展開が課題です。町には、なお一層の後押しをお願いするものです。

当初、開業して1年未満の場合は事業者向け支援の対象外と聞き不安でしたが、今回対象になりとても安心しました。今後も事業を続ける後押しになりました。

緊急対策と町の声

特別定額給付金事業

35億7700万円

新型コロナ緊急経済対策として
全国民一律10万円を給付する事業こさか ひでと
小坂 英人さん

今回のコロナ禍ほど不安な日々を過ごしたことはありませんでした。
そんな中、国民一人当たり10万円が給付されることになり、町では広報おおづに申請手続きの手順をわかりやすく掲載され、振り込みも早く感謝しております。
これからもコロナ感染予防に心を配りながら、経済の早期回復を願っています。

投票所での新型コロナウイルス
感染拡大防止事業

1670万円

投票用紙自動交付機、
フェイスシールド、消毒液、
手袋等を導入するあらまき かよ
荒巻 佳代さん

コロナの影響で投票率が下がるという事態は、避けなければならない。
そのためには、投票所での最大限の感染予防対策を徹底し、安心して投票に行ける環境作りは大切です。

きむら けんや
木村 欣也さん (大津町総合政策課課長)

ウィズコロナにおけるテレワーク環境と多様で柔軟な職場づくりを目指します。

役場のテレワーク・リモート会議の推進

1930万円

テレワークやリモート
会議に必要な機材や
ソフトウェアを導入する

その他

宿泊客誘致緊急対策事業 (5340万円)・・・宿泊費最大6割補助や飲食・タクシー券2千円分の支給
ゴミ分別アプリ導入事業 (35万円)・・・スマートフォンで利用できる分別アプリの活用で窓口対応を削減
ひとり親家庭等臨時特別支援金 (1860万円)・・・一人2万円の支給で家計の安定を支援
生活支援臨時特別支援金 (7940万円)・・・非課税世帯へ1世帯2万円、2人目以降につき5千円を支給
避難所の感染症防止対策に必要な物品の備蓄 (165万円)・・・サーキュレーター、噴霧器などを購入
夏季休暇中の給食費無償化事業 (1490万円)・・・家計負担軽減のため8月分の給食費を町で負担 など

NEW!

議会の動画がご覧になれます!

コロナ禍での緊急対応として、議会定例会および臨時会の(本会議)の動画を配信しています。右記のQRコード、または大津町議会のホームページからご覧になれますので、お気軽にご視聴ください! (公開期間 9/6 (日) までを予定)

※画質やカメラ位置などは今後改善していきます。



大津町議会

検索

経済建設委員会 レポート

町独自の経済対策は 周知の徹底を！



商工会との意見交換会

Q 新型コロナウイルスへの町独自の経済対策の内容と支給要件は明確か。
A 国の持続化給付金の支給要件に当てはまらない、売上減少率30〜50パーセントの事業者に対して、県が支給する支援金に町独自で10万円を上乗せする。

町独自の支援金は

支援金の周知は

Q 十分な申請期間を取るとともに、周知の徹底が必要かどうか。
A 予算成立後、早急に必要な支援金の周知を開始し、期限は来年2月末までと考えている。周知の方法は、ホームページやライン、回覧板で行い、さらに県から事業継続支援金の対象者の情報を得て該当者には、個別にも案内をする予定である。



商工会が行っている飲食店応援企画

文教厚生委員会 レポート

コロナ禍には支援の進化で！



電話ではわかりにくい子どもの育児

不安を抱える妊産婦への支援は
Q 妊産婦に対する電話支援の具体的内容は。
A 3月から5月までの乳幼児健診を中止延期したことに伴い電話による支援を行っているが、回線を増設（2→4回線）し、個人の状況に応じて定期的に連絡したい。
Q 顔を見て判断しないといけない部分もあるのではないかと。テレビ電話など新しいやり方を取り入れる考えはないか。
A テレビ電話は効果的な手段だと思うので検討したい。



タブレットパソコンでの授業風景（※先生はフェイスシールド着用）

児童生徒用タブレットパソコン導入の目安は
Q タブレットパソコンは調達できるのか。
A 県の共同調達で、年末から年度内の納品予定。また、校内ネットワーク環境整備も年度内の完了に向けて進めている。今後、休校になった場合に備え、オンライン授業だけでなく通信障害等も想定し最善の方法を検討したい。

委員会レポート

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの常任委員会があります。議員は必ずどれかの委員会に入らなければなりません。全議員が出席する本会議とは別に、各委員会でもその委員会に委ねられた議案に対する話し合いがされます。



総務委員会	町全体の総務・企画・会計・監査、議会、選挙、その他
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育、住民

総務委員会 レポート

新型コロナ、第2波・第3波にそなえた対策を！



避難所運営の課題は
Q これから梅雨に入る今後の対応は。
A 先進的な取り組みをしている益城町を視察し、防災関係者会議を開催した。その中で感染症対策として検温や消毒と合わせ避難所の増設等を検討している。



避難所となった野外活動研修センター

自主財源の減少が心配だが現状は
Q 財政調整基金は16億5千500万円、感染症対策優先で後年度でもよい事業は後回し、有利な財源があれば躊躇することなく実施する。

コロナ対策の財源確保は

【大津町議会のこぼれ話】 今回の欄外（最下部）では議員がよく住民の皆様に聞かれる内容をまとめてみました。

一般質問

町政を問う 6月定例会 9議員が質問に登壇！

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 豊瀬 和久議員 | 4. 坂本 典光議員 | 7. 山部 良二議員 |
| 2. 三宮 美香議員 | 5. 荒木 俊彦議員 | 8. 永田 和彦議員 |
| 3. 山本 富二夫議員 | 6. 佐藤 真二議員 | 9. 金田 英樹議員 |



大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを問うのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

同時双方向型オンライン授業の実施へ万全を期すべき

A 精一杯、オンライン授業の取り組みを加速させていく

公立学校における休校中の学習方法

指導方法	
教科書や紙の教材を活用	100%
テレビ放送を活用	24%
教育委員会が独自に作成した授業動画を活用	10%
上記以外のデジタル教科書やデジタル教材を活用	29%
同時双方向型の指導	5%
その他	12%

※4月16日時点、文科省調べ。複数回答可。
休校中の全国自治体などが回答

その他の質問

- ・行政手続きのオンライン化や税金支払い等のキャッシュレス化を推進する取り組み
- ・避難所の3密を回避する体制構築について
- ・SDGsを推進するためのアイコン活用について

豊瀬 和久議員



Q オンライン授業に積極的に取り組んだ学校では成果を生み出している。
本町でも全小中学生に一人一台のタブレットパソコンを配備するための予算が計上された。
新型コロナウイルス感染拡大の第2波に備え、たとえ休校中でも教師から直接教わることができ、一人一人の個性を生かしながら、学力の維持向上ができる双方向型のオンライン授業が円滑に実施できるよう万全を期すべきだ。

A オンライン授業によって、学びの保障を充実させることができたということは痛感している。
精一杯、オンライン授業への取り組みを加速させながら、その他の取り組みと合わせて学びの保障に力を入れていきたい。
現在あるICT環境を活用するなど工夫しながら全ての児童生徒の学びの保障に努めてまいりたい。
(教育部長)

※情報通信技術

ピックアップレポート!!

「公有財産の処分について」

この議案は、平成27年度に民間が福祉事業を行うため5年間の賃貸借契約を行っていた用地について、今回その契約が終了するにあたり、相手方より売買の申し出があり、売却をしようとするものです。

付託を受けた総務委員会では、6月11日に所管課より説明を受け、さらに審議を深める必要があると判断したため、翌12日及び16日に参考人として町顧問弁護士を招致し、意見の確認も行いながら計3回の委員会において審議しました。

- | | |
|---|---|
| Q1 議案の鑑定価格は5年前の鑑定であり、今回売却しようとするなら、改めて不動産鑑定を行うべきでは。 | A1 双方の同意で、交渉開始時点の価格です。 |
| Q2 実際に事業を行っている社会福祉法人への売却ではなく、その関係企業への売却なのはなぜか？ | A2 社会福祉法人では経営的に厳しい状況にもあるとことで、先方からの希望もあり、関係企業を売却の相手方とすることになりました。 |
| Q3 今回の売却案では、A鑑定価格からB土地の造成整地費用を差し引いている。関係企業に売却するのに、造成費を差し引くことは成り立たないのではないかと？ | A3 売買金額については、双方の同意で決められる。 |

論点・参考人の意見は

- 論点1 町有地を第3者の関係企業に売却するに当たり、造成費用3700万円を差し引くことは、法的に問題はないか。
- 論点2 造成費差し引き後に社会福祉法人に対して10%控除を予定している。この優遇措置の根拠条例と妥当性の説明はできるか。



解体造成後の現地写真

意見 参考人の意見としては法的に問題はなく『今回の売却提案に対して、自治体の財産を一般的には、誰に対していくらか売却するかは、合法であると解釈される。』
また、案件の土地売却で誰かが不当な利益を手にするなどの問題がない限り、地方自治法を根拠として、今回の町有地売却で譲渡することが妥当かどうかは、町民の代表としての議会の判断にゆだねられる。

結果 本議案については、総務委員会では全員賛成で可決すべきものとし、本会議では賛成多数により可決となりました。

町議会こぼれ話② 【年齢と男女比】 平均年齢は64.93歳（発行日時点）、（30代 1名、50代 5名、60代 5名、70代 4名、80代 1名）男女比は男15人、女1人です。

Q 役場機能の充実と向上について

A 費用対効果等を十分に分析し、方向性を検討する。

RPA 導入の失敗事例



永田 和彦議員

Q RPA に取り組み役場機能の効率化を掲げられるが人事体制を整えるのが先だ。
RPA は人員削減に繋がらず一つの軌道に乗せたり仕しかできず回り道になりかねない。
AI (人工知能) を使うには至っていないが、次を見据えた取り組みでないと単純システムに振り回される可能性も考えられる。
よって優れた専門知識を持った人材を擁する体制が求められる。



A 増え続ける行政需要に、AI や RPA は欠かせないツールになると考えている。
ICT 関連は専門知識を持った人材が必要だと認識している。また昨今の ICT 関連は、驚異的な発展を遂げており、RPA や AI をはじめ G やビッグデータ関係も今後の事務処理に大きな影響を及ぼして行くものと考えられ S E 専門職員の配置、他の自治体との共同処理、民間からの専門家の派遣等の検討が必要になると考えられる。
本年度は、OCR や RPA の実証実験をトライアル的に費用対効果等を十分に分析し、今後の方向性を検討する。
(町長)

Q スマート自治体とウィズコロナを見据えた行政事務手続き

A スマート自治体の推進を図りたい



金田 英樹議員

Q 少子高齢化が進み、財政も厳しくなるなか、ICT (情報通信技術) や AI (人工知能) 等の先進技術も柔軟に取り入れた、いわゆるスマート自治体への移行は不可避である。
また、各種手続を自宅からできるオンライン化やクレジットカードによるキャッシュレス決済などは密や接触回避にも繋がる。
筋よく進めるためには、①職員 ICT 理解と能力の底上げ、②システム

テクノロジーの発展で変わる自治体

と現場の双方を理解して現場を統括できる CIO (最高情報責任者) の任命、③ ICT に慣れ親しんだ若手を中心とした職員からの提案制度などが不可欠である。
A ①全職員において、底上げを図る。
② CIO の任用も有効だと考えているが、町にとってどのような組織体制が望ましいかは、しっかり検討していきたい。
③若手職員の協調性と柔軟な発想は重要。職員提案制度と併せ、テーマ別部会での勉強会など、資質向上にも積極的に取り組み、スマート自治体の推進を図りたい。
(町長)

その他の質問

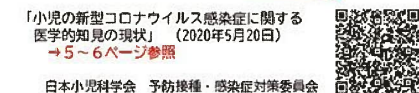
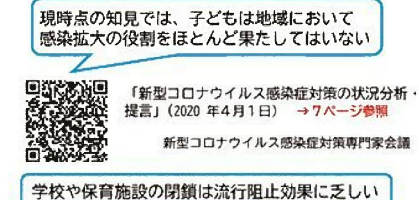
・町の情報発信と周知の在り方

Q 子どもたちの努力と犠牲にどう報いるか

A 休業がマイナスにならないよう精一杯支援

専門機関は学校閉鎖の必要性・有効性を示していない

佐藤 真二議員



その他の質問

・コロナとの共存、コロナ後の「新しい生活様式に町はどう取り組むか。」
・情報公開がまったく進んでいない。

Q 新型コロナの影響で学校等が休業した。子どもたちは成長の機会を失い、多くの苦痛に耐えた。専門機関は学校閉鎖の必要性・有効性を示していない。それでも子どもたちは頑張った。
感謝の気持ちを伝えなければならぬ。
A 子どもたちの協力、保護者のご苦労に心より感謝を申し上げる。
大変な苦痛であったと思うが、その頑張りを今後の成長のプラスにしてほしいと願っている。取り組みの一つとして、今

回のことを綴った作文をタイムカプセルにしてどうかと教育委員会に提案している。
(町長)
A 子どもたちは休業の意義を受け止め、協力努力してくれた。精一杯頑張ってくれた子どもたちにに対し、教育活動を創造的に工夫しながら報いていきたい。
(教育長)
Q タイムカプセルのアイデアはいいと思う。ただ、真面目な取り組みだけでなく、純粋に遊び、楽しみの要素も盛り込んで考えていただきたい。

Q 世界かんがい施設を活用し中長期的な計画を

A 内需型観光への取り組みを模索していく



山部 良二議員

Q コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド需要の急減が本町にもたらすインパクトは想像を絶します。
今後、政府の第二次補正予算を踏まえた支援策と地域の魅力を内外に発信し、世界かんがい施設遺産を活用した観光振興が重要では。
8月には、熊本地震で不通となった豊肥本線の大津・阿蘇間が全線開通します。

上井手で行われた一斉清掃

今後本町を阿蘇観光の通過点とせず、豊富な文化遺産を活用し、観光振興策や子どもたちの育みを住民との協働による中長期的な計画が必要ではないか。
A 本町でも観光業をはじめ、多くの事業者に影響が出ており、世界かんがい施設遺産の登録を契機に、大津町の特徴である水・石・花、の歴史と風情を活かし、官民が連携し、町の宝を各種団体の活動でさらに磨き上げることが、真の観光振興につながる。
(町長)
A 郷土資料やフィールドワークを活用し、子どもたちや地域と学校が協働する活動を検討していく。
(教育長)

その他の質問

・大津町子どもの生活実態調査について

どうつくる？
若者に伝わる
広報誌

尚 綱 大 学 生 と の 意 見 交 換

7/10 (金)

今回は尚綱大学で、「社会調査法」の授業を受講している学生の皆さんに議会の録画放送の印象や改善方法について聞いてみました。



議会に対する印象がガラッと変わったので、こういう取り組みを是非もっとやってほしい！



どんどん進んでいくので、質問の要旨や難しい用語の字幕があれば理解がしやすい！



定点カメラでの撮影で、全体的な様子が見えなかったのが台数を増やして、工夫するとより臨場感が出て、見応えも上がると思う！



カメラが遠くて表情が見えなかったのが、もう少し顔が見えると、より熱意が伝わって良いと思う！



いきなり議場に行くのは敷居が高いけど、これならリラックスして見れるので、導入には丁度よい！



コロナ禍の緊急対応として、初めて議会の録画内容をオンラインで配信しました。

現在は仮の議場ですが、来夏頃に供用開始予定の新庁舎の議場では当初よりカメラを設置してオンライン環境を整える計画です。

今回の意見も生かし、より身近で発信力のある議会を目指します！

【その他】

- ・名前のテロップはもっと大きく！
- ・再生回数が2桁だったので、もっと広報が必要！
- ・動画放送はぜひ継続してほしい！

町議会こぼれ話④ 【議員報酬】 通常は月額 24.9 万円(期末手当約 2.6 カ月分)、議長等の役職で若干異なります。(菊陽町 24.9 万円、菊池市 33.9 万円)

滋賀県 大津市議会との 広報・広聴活動に関するオンライン意見交換会

ウィズコロナの
議会広報！

7/21 (火)

コロナ禍によって、議会の視察や研修も自粛状態にあります。しかし、こうした時期だからこそ、ウィズコロナにおける広報の在り方などを考える意義があります。今回は大津市議会にお声掛けし、テレビ電話でお互いの取り組みについて意見を交わしました。



ICTを活用した先進的な取り組みを行っている大津市議会



当日の様子



オンライン意見交換会を開催して

議会広報編集特別委員会
委員長 豊瀬 和久

コロナ禍の新しい研修スタイルとして、熊本日日新聞社の渡辺吉孝取締役をファシリテーター(進行)に迎え、滋賀県大津市議会議会局とテレビ電話による広報広聴に関する意見交換会を開催しました。
コロナ感染予防で傍聴自粛もお願いするなか、新たな広報手段としてオンラインを活用することは不可欠です。

また、オンラインの活用は災害等の非常時に機動力を発揮できる議会や行政であるためには重要な取り組みだと思います。
今回、移動自粛の中で試行的に開催した意見交換会でしたが、町民に親しまれる議会だよりの編集に生かしていきたいです。

町議会こぼれ話③ 【会派と政党】 会派制度は導入していません。政党は無所属 14 人、共産党 1 人、公明党 1 人です。

PICK UP 私の気になった一般質問

「観光振興や子どもの育み」

観光分野でも大きな被害があったことを改めて知りました。回答でも専門的な用語がわかりやすく説明されていたり、実際に今どのようなことが行われているかを答えていてわかりやすかったです。

現代文化学部 1年 小川 聖



「新型コロナウイルスの感染拡大と小中学校のオンライン授業の実施」

オンライン授業の利点としては、自宅や好きな場所で勉強ができることくらいだと思っていましたが、不登校児が画面越しで授業に参加できるようになり、さらにその後には登校できるまでになったという事例に驚きました。

現代文化学部 4年 清田 紗帆



最初の一步には録画放送は効果的

録画放送は構えずリラックスして傍聴できる事や、好きな時に何度も見返せる事、聞き取りづらかった場合に巻き戻して再度視聴できる事などがメリットだと感じました。



田島（文責）、宮本、清田、富田、濱田グループ

強い思いと意思が伝わった

一方で画面越しのため、登壇している議員の表情や、現場の臨場感、緊張感といった肌で感じる空気、話し手の名前など、伝わってくる情報が少ないと思いました。

質問者と回答者が1対1で討論するイメージでしたが、町長や教育長、総務部長など、複数の人が代わる代わる回答していて新鮮でした。

今年はコロナウイルスの流行で、避難場所や休校時の教育環境など、様々な事柄を根本から見直さなければならなくなりました。

しかし、1つのテーマだけでもとても長い話し合いが行われており、コロナ禍でもより良い生活を提供するにはどういう政策を取るべきかの議論には強い意志を感じられました。

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 20

議会傍聴を終えての素直な感想を語る！

今回は2班に分かれてのグループディスカッションの内容をまとめました。

議員と職員の熱が伝わってきた

緊張感があり、納得いくまで熱のこもった話し合いが行われていました。コロナ禍で画面を通じた録画での傍聴であったため伝わりづらい部分もあったが、一方では過度に緊張せずに、リラックスして議論内容に集中できました。

幅広いテーマに関心が湧いた

やはり、新型コロナウイルスに関する質問が多くを占めていました。その中でも、健康や観光、教育など、幅広い質問があり、学生それぞれで興味を持って聞くことができました。

まちづくりへの関心が深まった

観光復興のために、大津町を散策できる地図を作成して地域のシンボルを知ってもらう取り組みは、町の知名度向上に繋がる良い案だと思いました。また、他の地域と連携して、大津町だけでなく熊本全体で盛り上げていくのは良い考えだと感じました。



鹿子木（文責）、高宮、小川、河北、佐藤、須藤グループ

議会を観ての生の声

6月定例会の傍聴者数のべ18人、動画再生回数568回(7/15時点) ※動画は表紙のQRコードから

私たち働き世代にとって録画放送はありがたい。

議会の録画放送は、日中なかなか傍聴に行けない私たち年代にとってはとても良い試みだと思います。

今回はコロナ禍で急遽実施したと聞いていますので、今後は解説のテロップや議場での配布書類などを入れて頂くにより内容が伝わると思います。また、カメラの台数を増やして議会全体が見えるような形にすると、見る側にも議会の関係者の方にも緊張感があって良いのではないかと思います。

最後に、世の中が日々変化していく中で…日頃より大津町また町民の為に試行錯誤またご尽力頂き本当にありがとうございます。



内村 勇治さん

自分の生活にも直結するため今後も注目したい

以前から議会の傍聴に興味はありましたが、開催が平日の昼間ということもあり、なかなか傍聴することができませんでした。

しかし、今回のYouTube 配信で、初めて傍聴することができました。映像からでも伝わる緊張感、一般質問では議員の方々からの質問で、コロナ禍における行政の対応や教育問題、観光など様々な分野から町の現状や課題を知ることができ、その解決に向けて町長をはじめ議会に関わる方々が真摯に取り組まれていることを感じました。

自分の生活に直結する町の変化に今後も注目していきたいので、配信は続けていただきたいです。



三輪 ゆかりさん

議会・地域政治をより身近に

動画配信によって、議会を知る手段が増えるのは町民にとって良いことです。出向くことなく都合の良い時間に情報を得られるので、普段学校に通う学生や子育て・働き世代の社会人も議論されている課題を知り、より深く町のことを考えるきっかけになると思います。

新型コロナを機に生活様式が変化するなか、こうしたITの活用は町民にも一層求められることになると感じています。私たちも情報を受けるだけでなく、自ら積極的に取りに行くことが必要です。

今回の取り組みが、議会と町民のつながりを強くするものになれば嬉しいですね。



江藤 俊彦さん

今後も気軽に傍聴したい

関わっている町づくりの活動に関する議論があるのではとの期待もあり、一般質問を2日間傍聴しました。

当日は「水車公園周辺の整備」、「歴史と文化を活かした観光振興や子育て」、「清正公道埋め立ての見直し」についての質問があり、町の振興総合計画にも謳われる駅北の歴史と文化を活かした町づくりへの関心が広がっていると感じました。

しかし、それが一過性ではなく、持続性を持つことが更に大事だという感想も持ちました。そのためには、議会にも、行政にも、町民にも、その具体化が問われているのではないかと思います。



千田 哲夫さん

追跡 どうなった？ 一般質問の行方

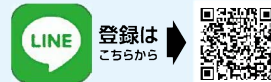
町LINEの運用スタート！

2019年6月定例会

質問 LINEを活用した情報周知

日中町外へ出ている方や、防災無線の難聴地域への補完として、町のLINEを導入・活用してはどうか。

LINEは様々な年代に幅広く利用されており有用だと考えている。発信体制と合わせて前向きに検討したい。



答弁



あれから・・・こうなっています！

3月から改善しながら運用中

本年3月から大津町のLINEアカウントが開設され、1000人以上の方が登録しています。

一方で、更新頻度や内容に対して、議会でも様々な意見・質疑が出ています。

「実現して終わり」ではなく、より良いものになるように取り組んでいます。

公営住宅 親子間の引き継ぎを明確化！

2019年3月定例会

質問 町営住宅の入居承継基準の見直し

町営住宅条例の入居承継に明確な基準がない。役場から「親子での引継ぎはできない」と言われ、途方に暮れる声もある。

今後は親子間（一親等親族間）の承継もできるよう、基準を見直すとともに、具体的な要綱も作成したい。



答弁



4月から新たな要綱を施行

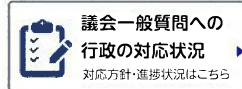
本年3月に「大津町営住宅入居承継承認取扱要綱」を定め、4月から施行されています。

これによって、基準が明確化され、入居者の居住権も文章で保障されることになりました。

一般質問の対応状況を確認できます！

大津町議会では、一般質問で町が「検討する」とした内容の対応状況をホームページで公開し、随時更新しています。

詳細は右部リンク先から確認できます。



大津町議会

検索